

13 畜産経営体生産性向上対策

【令和6年度予算概算要求額 829（750）百万円】

＜対策のポイント＞

酪農・肉用牛経営の省力化に資するロボット・AI・IoT等の先端技術の導入や、それらの機器等により得られる生産情報等を畜産経営の改善のために集約し、活用するための体制整備等を支援します。

＜事業目標＞〔平成30年度→令和12年度まで〕

- 生乳生産量：728万t→780万t
- 牛肉生産量：33万t→40万t

＜事業の内容＞

1. 畜産経営の生産性向上対策

畜産経営の省力化により生産性向上を図るため、搾乳ロボット・発情発見装置等のICT関連機械を導入する取組を支援します。

2. 畜産のビッグデータ等の活用に向けた体制整備

畜産関係団体やITベンダー等が連携し、牛の個体識別番号と当該牛に関連する生産情報等を併せて集約し、活用する体制を整備する取組等を支援します。

＜事業の流れ＞

国

定額

民間団体

定額、1/2以内

協議会

(1の事業)

国

定額

民間団体

(2の事業)

＜事業イメージ＞

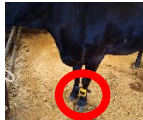
1. 畜産経営の生産性向上対策

省力化により生産性向上につながる機械・装置（各種データ取得が可能）の導入を支援

発情発見

分娩監視

飼養管理（搾乳、給餌等）


発情発見装置


分娩監視装置


搾乳ロボット


ほ乳ロボット


自動給餌機

2. 畜産データ活用体制整備事業

民間クラウド

民間クラウド

民間クラウド

生産関連情報

畜産クラウド

個体識別情報

乳量・乳成分情報

人工授精情報

疾病履歴情報

牛個体識別台帳システム

個体識別番号

管理者

飼養施設

出生年月日

etc.

畜産関係団体

ITベンダー

その他支援関係者

畜産のビッグデータ等の活用による畜産経営改善支援